

■日時:2021年4月23日(金)9時~11時

■場所:KOIL(柏の葉オープンイノベーションラボ)6階A3会議室にて開催

○事務局から以下の事項につき説明

データ倫理原則についての説明

柏の葉キャンパス駅周辺におけるAIカメラの取り組みについての説明

○データ倫理原則(案)の説明を受けて委員から以下の意見および提言を受けた。

- 柏の葉データプラットフォーム(以下、「KDPF」)の「目的」については、「生活者の利便の向上」というだけでなく、データ利活用によって、これまでと次元が変わる(移動手段で「馬」から「車」になるような変化。世界が変わるといような変化。)とも表現するのがよいのではないか。
- 「データの個人主権」について、個人のプライバシーの最大限尊重は前提であり、KDPFでは生活者が同意を途中で撤回ができるようにされている。反面、濫用的な権利主張は、KDPFが目指す三方よし(「生活者」「サービス提供者およびデータ利活用者」「地域社会」全体の利益)を崩すので、問題がある。欧州でも特定の1個人の利益だけではなく、システム全体を守ることを是とする考え方が受け入れられている。

○柏の葉キャンパス駅周辺におけるAIカメラの取り組みについて

- カメラ画像・映像の扱いについては経済産業省と総務省が合同で進めるIOT推進コンソーシアムカメラ画像利活用サブワーキンググループでまとめている「カメラ画像利活用ガイドライン」を参考にすべき。  
また総務省・経産省に都度相談して進めるのがよい。
- 今回の取り組みについては、ガイドラインやデータの取扱いなど丁寧に進めるべきである。事前にプライバシー影響評価(PIA)を実施すべきで、このデータ倫理審査会で内容を議論したい。また相談窓口は設置の検討を行うべきかと思う。(平日9-17時など。)

○事務局から委員から頂いたアドバイスを受けて倫理原則を修正および委員に送付し最終決定する旨を説明。また柏の葉キャンパス駅周辺におけるAIカメラの取り組みについては、次回の倫理審査会に向けて、委員から頂いたアドバイスを受けてガイドラインの策定を進めることや倫理審査会での論点をまとめることを説明。

以上